

株主メモ

決算期	12月31日
定時株主総会	3月
期末配当金支払株主確定日	12月31日
中間配当金支払株主確定日	2014年9月30日(2015年以降は6月30日)
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告 当社ホームページ(http://www.jti.co.jp/)に掲載 <small>※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載</small>
株主名簿管理人・ 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 ■事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ■お問い合わせ先 郵便物送付先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711(平日9:00~17:00) ■特別口座に関する手続き用紙のご請求 特別口座をご利用の株主様の住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、特別口座管理機関(☎0120-244-479)で24時間承っておりますので、ご利用ください。
株式の諸手続き	口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。

株式の諸手続きについて

証券会社でお取引をされている株主様

【お手続き、ご照会内容】

- 届出住所・氏名などのご変更
- 配当金の受取方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・売渡(買増)請求

など

口座を開設している証券会社

- 郵便物の発送/返戻に関すること
- 支払期間経過後の配当金
- 書類が届かない/配当金領収証の紛失等のトラブル

など

三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座をご利用の株主様

【すべてのお手続き、ご照会、お問い合わせ】

- 届出住所・氏名などのご変更
- 配当金の受取方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・売渡(買増)請求
- 郵便物の発送/返戻に関すること
- 支払期間経過後の配当金
- その他、株式事務に関する一般的なお問い合わせ

など

お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
☎0120-232-711(平日9:00~17:00)

手続き用紙のご請求先

- 音声自動応答電話によるご請求
- ☎0120-244-479(24時間)

株主・投資家の皆さまへ

業績報告書



2014年度第1四半期決算報告



JT NEWS



JTグループ商品のご紹介



CLOSE UP! (JTグループ企業・事業部紹介)



JT TOPICS



旅路の先で出会う温故知新



全社利益目標の達成に向け、順調なスタート



代表取締役社長
小泉 光臣

2014年度第1四半期 (国内4-6月、海外1-3月の連結)

2014年度第1四半期は、全社利益目標の達成に向け順調なスタートを切ることができました。

国内たばこ事業において消費税増税後の仮需反動影響があったものの、海外たばこ事業における単価上昇効果及び為替影響により、売上収益は対前年1.6%の増加となりました。

国内たばこ事業は、仮需反動の影響により販売数量が対前年15.6%の減少となりました。一方で、シェアについては、59.1%と落ち込んだ4月以降、主力ブランドであるMEVIUS（メビウス）に牽引され、6月単月では60.0%まで上昇していますが、消費税増税の影響については、今後も慎重に見極める必要があります。引き続き、お客様に当社製品をご愛顧いただけるよう、ブランド力の強化に努めてまいります。

海外たばこ事業は、ロシア及び欧州を中心とした総需要減等、厳しい事業環境が継続していますが、着実な単価上昇効果により為替一定ベースの調整後営業利益（USドルベース）は14.4%成長となりました。なお、4-6月の速報実績は、最大の市場であるロシアでの総需要減少影響等により、引き続き販売数量は前年を下回る水準で推移していますが、お示し

ている二桁の利益成長達成に向け、単価上昇効果を中心とした質の高いトップライン成長を追求するとともに、継続的なコスト最適化に取り組んでまいります。

2014年1-6月参考値（比較参考数値）

2014年度決算は、国内は4-12月の9か月、海外は1-12月の12か月を連結する変則決算となります。比較参考数値としてすべての事業を12か月ベースに調整した実績をご紹介します。全社1-6月ベース参考数値においても、1-12月ベースの見込に対して当初想定範囲内で推移しており、全社として今年度の計画達成に向けて順調な滑り出しとなりました。

引き続き、我々の強みとも言える事業環境の変化への対応力を強化し、今年度の目標達成を目指してまいります。

2014年度

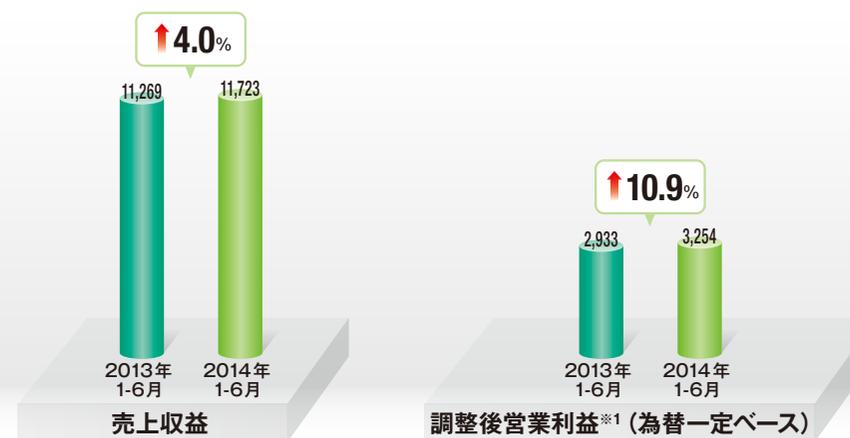
第1四半期決算（財務報告ベース国内4-6月 海外1-3月）

（単位：億円）



1-6月累計実績（国内・海外ともに1-6月参考値）

※監査法人による監査を受けていない参考数値



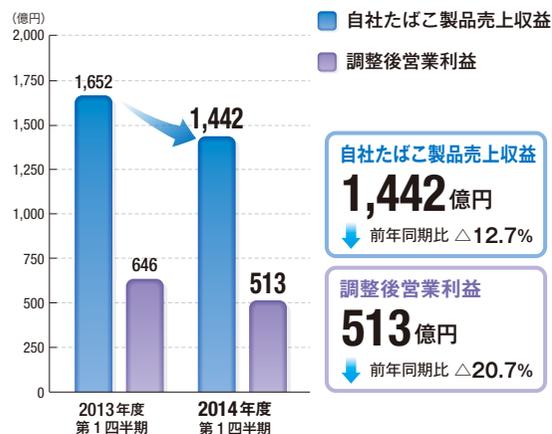
※1 調整後営業利益＝営業利益＋買収に伴い生じた無形資産に係る償却費＋調整項目（収益及び費用）
 ※調整項目（収益及び費用）＝ のれんの減損損失主リスストラクチャリング収益及び費用等
 ※2 親会社所有者に帰属

国内 たばこ事業

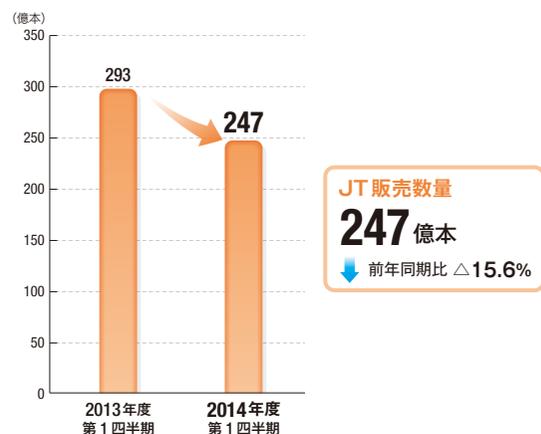
駆け込み需要の反動影響の中、
MEVIUS (メビウス) が牽引しシェアは順調に回復

消費税増税に伴う駆け込み需要の反動影響により、当第1四半期の販売数量は15.6%減少となりました。厳しさを増す競争環境の中、4月以降、お客様のリテンションに向けたさらなるブランド・エクイティの強化に努めてまいりました。その施策効果が一部発現したものの、駆け込み需要の反動減の影響を相殺するには至らず、減収・減益となりました。

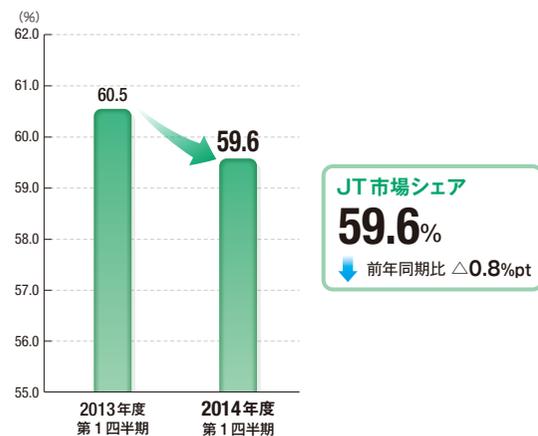
国内たばこ事業実績



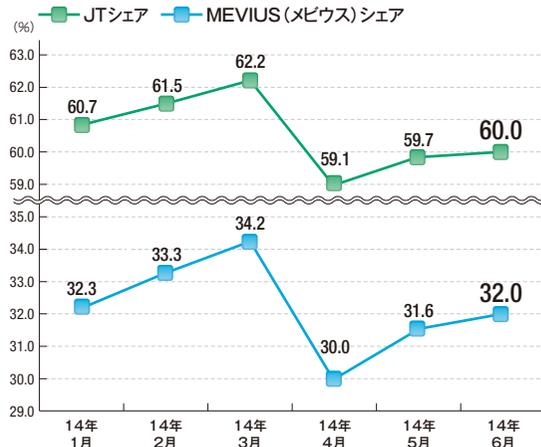
JT 販売数量実績



JT 製品の市場シェア



JT製品及びMEVIUS (メビウス) の市場シェア

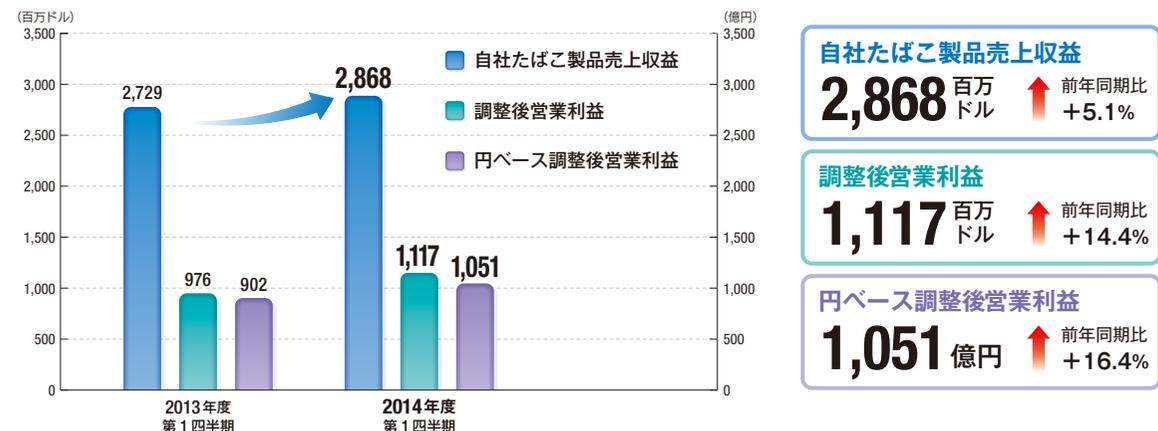


海外 たばこ事業

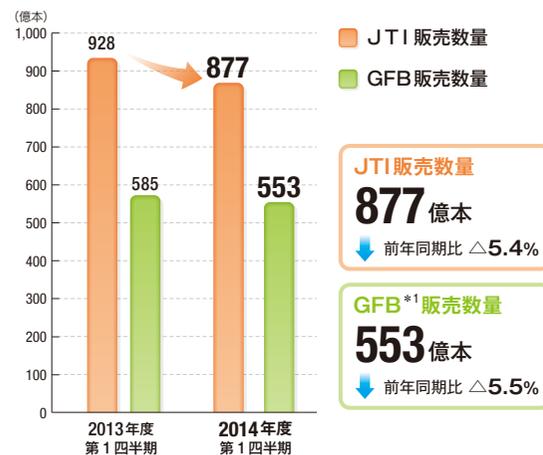
為替一定ドルベースの調整後営業利益は、
引き続き二桁成長を継続

ロシア及び欧州を中心とした総需要減等の影響により、販売数量は減少となりましたが、単価上昇効果により、為替一定ドルベース調整後営業利益は14.4%の成長となりました。また、邦貨換算時に円安影響を受けた結果、円ベースの自社たばこ製品売上収益は12.5%増、調整後営業利益は16.4%増となりました。

海外たばこ事業実績 ※海外たばこ事業については、2014年1月～3月実績



海外たばこ事業販売数量実績



主要市場シェア

	2013年3月	2014年3月	増減
イタリア	21.5%	21.4%	△0.0%pt
フランス	18.4%	20.1%	+1.7%pt
スペイン	20.2%	21.1%	+1.0%pt
英国	39.8%	40.8%	+1.1%pt
ロシア	36.3%	36.1%	△0.2%pt
(うちGFBシェア)	22.1%	23.5%	+1.3%pt
トルコ	26.3%	26.7%	+0.4%pt
台湾	39.3%	39.2%	△0.1%pt

*1 JTグループのブランドポートフォリオの中核を担う「ウィンストン」「キャメル」「MEVIUS (メビウス)」「ベンソン・アンド・ヘッジス」「シルクカット」「LD」「ソプラニー」「グラマー」の8ブランドのこと

※出典: IRI, Nielsen, Logista
 ※%ptは、パーセントポイントの略

新たに2型糖尿病治療薬「JTT-252」及び抗HIV薬「JTK-351」が臨床入りしました。なお、当第1四半期における売上収益は、前年同期には既導出品の開発進展に伴う一時金収入があったことなどにより、前年同期比37億円減収の131億円となりました。調整後営業利益については、減収により28億円悪化し38億円の損失となりました。

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2014年7月30日現在)

自社開発品

開発名 (一般名など)	想定する適応症 / 剤形	開発地域	開発段階					備考
			Phase1	Phase2	Phase3	申請	承認	
JTK-303 (elvitegravir) / cobicistat / emtricitabine / tenofovir alafenamide 配合錠	HIV感染症 / 経口	国内	国際共同治験*					新規配合錠 JTK-303 (elvitegravir) は自社品、他3成分は導 入品 (Gilead Sciences 社)
JTT-851	2型糖尿病 / 経口	国内 海外						自社品
JTZ-951	腎性貧血 / 経口	国内 海外						自社品
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 / 経口	海外						自社品
JTE-052	自己免疫・アレルギー疾患 / 経口・外用	国内						自社品
JTE-151	自己免疫・アレルギー疾患 / 経口	海外						自社品
JTE-350** (ヒスタミン2塩酸塩)	アレルギー皮膚テスト実施時の陽性コントロール / 注射剤	国内	(申請準備中)					導入品 (ALK 社) 鳥居薬品・機と共同開発
JTT-251	2型糖尿病 / 経口	海外						自社品
JTT-252	2型糖尿病 / 経口	海外						自社品
JTK-351	HIV感染症 / 経口	国内						自社品

(注) 開発段階の表記は投薬開始を基準とする
* Gilead Sciences 社の国際共同治験に参画

**厚生労働省主催の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において開発企業の募集が行われた品目

導出品

一般名等 (当社開発番号)	導出先	備考
elvitegravir (JTK-303)	Gilead Sciences 社	(適応: HIV感染症) 単剤: 米国 申請中 新規配合錠: Phase 3 (elvitegravir/cobicistat/emtricitabine/tenofovir alafenamide)
trametinib	GlaxoSmithKline 社	(適応: メラノーマ dabrafenib 併用) Phase 3
抗ICOS抗体	MedImmune 社	

前回公表時(2014年4月24日)からの変更点

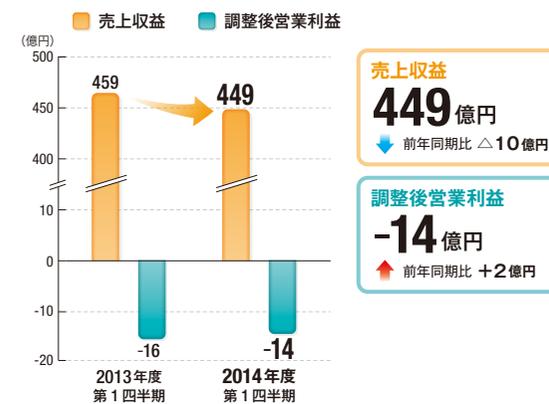
<自社開発品> ・JTT-252 新規臨床入り(海外Phase1) ・JTK-351 新規臨床入り(国内Phase1) ・JTK-303(単剤) 国内開発中止により削除

<導出品> ・Mekinist (trametinib)につき、GSK社が、BRAFV600遺伝子変異陽性の切除不能または転移性メラノーマを適応症として欧州EMAより承認取得を公表(2014年7月4日)

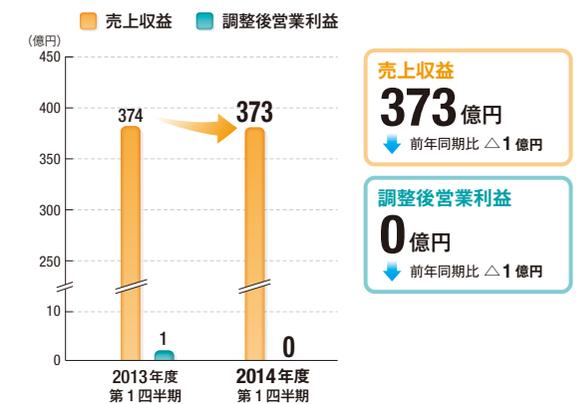
飲料事業においては、積極的な商品投入に努めたものの、販売数量の減少により、当第1四半期の売上収益は対前年10億円減収の449億円となりました。調整後営業利益は、減収影響を費用の節減効果が上回り、2億円改善し14億円の損失となりました。

加工食品においては、ステープル商品に注力し積極的な販売促進に努めました。売上収益は、前年同期と同水準の373億円となりました。調整後営業利益は、円安に伴う原価上昇はあったものの、費用の節減効果等により相殺し、前年同期と同水準となりました。

飲料事業実績



加工食品事業実績



将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、次のような事項を挙げる事ができます(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、国産たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- 国内外の訴訟の動向
- 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化及び需要の減少
- 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- 国内外の経済状況
- 為替変動及び原材料費の変動
- 自然災害及び不測の事態等

連結財務諸表

連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	前年度 (2014年3月31日)	当第1四半期 (2014年6月30日)	増減金額
資産			
流動資産	1,489,713	1,377,844	△111,869
非流動資産	3,127,053	3,021,354	△105,699
有形固定資産	779,987	758,998	△20,990
のれん	1,584,432	1,521,847	△62,585
無形資産	385,101	368,801	△16,300
投資不動産	61,421	62,634	1,213
退職給付に係る資産	16,530	16,951	422
持分法で会計処理されている投資	106,107	104,750	△1,357
その他の金融資産	92,596	91,605	△991
繰延税金資産	100,880	95,768	△5,111
資産合計	4,616,766	4,399,198	△217,567

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

point 1 流動資産

現金及び現金同等物並びに棚卸資産減少に加え、仮需影響の反動による販売本数減により、減少しました。

point 2 のれん

為替影響により減少しました。

科目	前年度 (2014年3月31日)	当第1四半期 (2014年6月30日)	増減金額
負債及び資本			
負債			
流動負債	1,255,834	1,211,947	△43,886
非流動負債	764,842	706,282	△58,560
負債合計	2,020,675	1,918,229	△102,446
資本			
親会社の所有者に帰属する持分	2,505,610	2,396,215	△109,395
資本金	100,000	100,000	—
資本剰余金	736,400	736,401	1
自己株式	△344,463	△344,462	1
その他の資本の構成要素	251,107	147,133	△103,974
利益剰余金	1,762,566	1,757,143	△5,423
非支配持分	90,481	84,755	△5,726
資本合計	2,596,091	2,480,969	△115,121
負債及び資本合計	4,616,766	4,399,198	△217,567

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

point 3 その他の資本の構成要素

為替影響により減少しました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第1四半期 (2013年4月1日～ 2013年6月30日)	当第1四半期 (2014年4月1日～ 2014年6月30日)	増減金額
売上収益	547,937	556,448	8,510
売上原価	△220,522	△226,392	△5,870
売上総利益	327,415	330,056	2,640
その他の営業収益	4,748	7,637	2,890
持分法による投資利益	274	1,279	1,004
販売費及び一般管理費等	△185,954	△190,745	△4,791
営業利益	146,483	148,227	1,743
金融収益	1,444	3,049	1,605
金融費用	△6,336	△3,760	2,576
税引前四半期利益	141,591	147,516	5,925
法人所得税費用	△41,684	△39,720	1,964
四半期利益	99,907	107,796	7,888
四半期利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する四半期利益	98,104	106,181	8,077
非支配持分に帰属する四半期利益	1,803	1,615	△188
四半期利益	99,907	107,796	7,888

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

point 4 売上収益

国内たばこ事業における2014年4月の消費税増税に伴う駆け込み需要の反動影響等があったものの、海外たばこ事業における単価上昇効果及び円安影響により、増収となりました。

point 5 営業利益

固定資産売却益の増加により、増益となりました。

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	前第1四半期 (2013年4月1日～ 2013年6月30日)	当第1四半期 (2014年4月1日～ 2014年6月30日)	増減金額
四半期利益	99,907	107,796	7,888
税引後その他の包括利益	84,748	△104,330	△189,078
四半期包括利益	184,655	3,465	△181,190
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する四半期包括利益	182,942	1,858	△181,084
非支配持分に帰属する四半期包括利益	1,713	1,607	△106
四半期包括利益	184,655	3,465	△181,190

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

point 6 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出等により減少しました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前第1四半期 (2013年4月1日～ 2013年6月30日)	当第1四半期 (2014年4月1日～ 2014年6月30日)	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,867	△27,111	△30,977
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,309	△27,437	△12,127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,122	△51,938	△47,816
現金及び現金同等物の増減額	△15,565	△106,485	△90,921
現金及び現金同等物の期首残高	142,713	253,219	110,506
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	3,665	△8,074	△11,739
現金及び現金同等物の四半期末残高	130,813	138,659	7,846

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

point 7 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入及びコマース・ペーパーの発行を行った一方で、社債の償還、配当金の支払い等があったため、減少しました。

被災者の方々に元気を届ける 「JT応援プロジェクト」へ協賛

JTは、東日本大震災からのさらなる復興・再生・活性化に貢献したいとの思いから、岩手日報社・河北新報社・福島民報社・福島民友新聞社が主催する東日本大震災復興支援「JT応援プロジェクト」へ協賛しています。

JTグループのこれまでの活動と関係が深い将棋・落語・パレーボール界からの協力を得られたことで、各界の著名人と地元の方々とふれあいを通じた地域復興への活力に貢献するイベントを実施できることとなりました。

2014年5月の岩手県宮古市から10月18日(土)の宮城県名取市まで、岩手・宮城・福島の3県16会場において、プロ棋士による指導対局や、落語公演、パレーボール教室などのイベントが行われます。

なお、本イベントには岩手県・宮城県・福島県ならびに同教育委員会にご後援いただいています。



6月29日、福島県郡山市市のパレーボール教室に集まった多数の参加者

JTグループのCSRの取り組みを紹介する コミュニケーション媒体を発行



※JTウェブサイトでは、「CSRコミュニケーションブック」や「JTグループサステナビリティレポート FY2013」のPDFをご覧いただけます。

<http://www.jti.co.jp/csr/report/>

JTグループでは、私たちのCSR(企業の社会的責任)の考え方や取り組みをより深くご理解いただくための冊子を発行しています。

「CSRコミュニケーションブック」では、JTグループのCSRの取り組みについて、わかりやすくご紹介しています。さまざまな社会貢献活動、地球環境保全の取り組み、各事業における取り組み等を、手軽に読んでいただけるようコンパクトにまとめています。

「JTグループサステナビリティレポート FY2013」では、原料調達から販売・流通まで、JTグループのグローバルな取り組みの詳細についてご紹介しています。

たばこ新商品紹介

味・香り・デザイン — 「セブンスター」のDNAを宿す4銘柄 「セブンスター・10/7/4/1」誕生!

価格:各460円(20本入)



Seven Stars

セブンスター・10

タール値:10mg / ニコチン値:0.8mg

セブンスター・7

タール値:7mg / ニコチン値:0.6mg

セブンスター・4

タール値:4mg / ニコチン値:0.4mg

セブンスター・1

タール値:1mg / ニコチン値:0.1mg

1969年の発売以降、味・香り・デザインともに独自の価値を貫き続け、個別銘柄として国内No.1*の販売実績を誇る「セブンスター(14mg)」。「セブンスター」の味・香り・デザインを継承する「セブンスター・10」「セブンスター・7」「セブンスター・4」「セブンスター・1」の4銘柄を全国で発売しています。

4つの新銘柄は、コクのあるしっかりしたうまみ、深くまろやかな香り立ちと豊かな煙のふくらみが特長で、幅広い層のお客様に、お好みのタール値でお楽しみいただけます。

パッケージは、「セブンスター」の白を基調とした奥ゆかしい全面星小紋のデザインを踏襲しました。

担当者コメント

昨今、メンソールや低タール商品などを含め、お客様ニーズが多様化しています。「セブンスター(14mg)」は日本一お客様にご愛顧いただいている商品ですが、お客様ニーズの変化や、現在低タールの嗜好をお持ちのお客様に対応するため、ラインナップの強化を行いました。今回の4銘柄の投入は挑戦的な施策ですが、いずれもセブンスターブランドに相応しい商品として仕上げることができました。

今後も、お客様の多様なニーズにお応えできるよう、新たな価値・満足を継続的に提供してまいります。



JT たばこ事業本部
マーケティング&セールスグループ
ブランド企画部
関 翔太

*TIOJ 年度別販売実績(2013年度)

※このページは株主の皆さまに事業を説明する目的で作成されたものです。お客様へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません



新発売

- ▶ 大自然に恵まれた大分県日田市産の梨
- ▶ みずみずしく爽やかな梨の味わい

The・おおいた日田の梨

500ml ペットボトル / 140円 (消費税別)

担当者コメント

大分県日田市産の梨の果汁を使用した、梨のみずみずしい爽やかな味わいを楽しめる清涼飲料水です。美しい山々と豊かな水に恵まれた大分県日田市は、栽培100年の歴史を持つ梨の産地で、収穫された梨は贈答用としても用いられています。味わい深い甘みの特長とする日田市産の梨の果汁を使用することにより、みずみずしい爽やかな味わいをすっきりとした後口でお楽しみいただけます。



JT 飲料事業部 商品開発部 丸山佳那



新発売

- ▶ 「高級豆ブラジルNo2」を贅沢に使用
- ▶ Roots 史上最も香る「最香焙煎」を搭載!

ルーツアロマゴールド 微糖H&C

260g ボトル缶 / 140円 (消費税別)
※2014年9月15日発売 (予定)



新商品!

- ▶ 山系の地層で磨かれた天然の水をパックした、ナチュラルミネラルウォーター
- ▶ お得な560ml大容量サイズ

大地が磨いたおいしい水

560ml ペットボトル / 120円 (消費税別)



丹念仕込み 本場さぬきうどん

3食入 / 600g

- ▶ さぬきうどん用小麦粉品種「さぬきの夢2009」使用
- ▶ 素材を選び、生地を鍛え、麺のうまさをさらに引き上げた自信作

担当者コメント

テーブルマークの冷凍うどんは今年で発売40周年。それを記念して、発売以来好評の「丹念仕込み 本場さぬきうどん3食」に、さぬきうどん用小麦粉品種「さぬきの夢2009」を期間限定で使用しています。強いコシ、なめらかなど越し、1本1本包丁切りしたための乱切りで、手打ち感のある商品に仕上げました。



テーブルマーク(株) 商品開発部 新居俊輔



- ▶ とろ〜り、とろけるトッピング用シロップがおいしさのヒミツ
- ▶ ゆったり味わう“おうちカフェ”メニュー

シナモンロール

2個入

新発売

- ▶ 「たきたてご飯」分割シリーズから新登場
- ▶ 「こしひかり」と「ひのひかり」を親に持つおいしいお米です

たきたてご飯 熊本県産 森のくまさん(分割) 4食

4食入 / 600g (150g × 2食 × 2個)



新発売

富士フレーバー株式会社

「一歩進んだ技術・多彩な技術」で洗練された香りを提供し続ける

国内唯一のたばこ香料製造会社として、JTグループのたばこ工場に香料を供給している富士フレーバー(株)。また、ジンジャーエキス、パプリカ色素などの食品添加物や、特定の昆虫を誘引、捕獲するモニタリングトラップの製造、販売など、「香りビジネス」を軸に事業を展開しています。



富士フレーバー株式会社
代表取締役社長 岩波 正

富士フレーバー株式会社

本社所在地 東京都羽村市緑ヶ丘3-5-8	
代表者 代表取締役社長 岩波 正	資本金 1億9,600万円 <small>(日本たばこ産業株式会社の全額出資)</small>
設立 1971(昭和46)年5月26日	従業員数 113名(2014年4月1日現在)



エコモン事業が提供する製品は、虫が仲間(同種)とコミュニケーションを行う「香り」であるフェロモンを利用しています。害虫発生の早期発見、発生消長(捕獲された虫の数の推移)の把握、対策の時期の決定やその効果の確認などに活用されています。



富士フレーバー(株)は、たばこ用香料の製造、研究開発を目的として、1971年にJT(当時は日本専売公社)の子会社として発足しました。以来、研究開発を進め香料技術を磨き、現在は「たばこ香料事業」「フレーバー(食品香料)事業」「エコモン(エコ+フェロモントラップ)事業」の3事業部門で構成されています。3事業とも、研究開発、製造、販売まで一貫した体制で、高品質で安全な「香り」の提供に努めています。

■ 独自のキーワード「香りビジネス」で持続的な成長を実現

「たばこ香料事業」は、たばこ用香料の製造を主力業務として、原料香素の開発や一部原料の特殊製法による製造を行っています。よりよい香料をJT、JTIなどの各工場へお届けできるよう、日々努力しています。

「フレーバー事業」は、“超臨界CO₂抽出技術”という特殊な方法を使って、たばこ香料用の原料、天然香料、香辛料、色素などの研究、製造、販売を行っています。食品業界からは超臨界CO₂抽出のバイオニアとして認知されています。

「エコモン事業」は特定の昆虫を誘引・捕獲するモニタリング用フェロモントラップの研究、製造、販売を行っています。主力製品の「ニューセリコ」は、JTグループはもとより、世界のたばこ業界からデファクトスタンダードとして評価いただいています。食品業界、医薬業界などでも幅広くご愛用いただいております。現在では100か国以上へ輸出しています。



フレーバー事業では、カレーの香辛料やコーヒーの香料の開発も行っています

■ 工場や倉庫などを刷新した「富士リフレッシュプラン」

築35年以上経過し老朽化した建物・設備を刷新するため、2006年から5年計画で「富士リフレッシュプラン」を実施。設計段階から、品質、作業性のほか、耐震性などリスク対応力を向上させるため、課題ごとにミニプロジェクトを立ち上げました。全員参加型の体制で取り組んだ結果、現場ニーズに合致した建物・設備などを完成させました。

また、きれいになった職場の維持管理に向け、5S3定(5S=整理・整頓・清掃・清潔・躰、3定=定位・定品・定量)の定着、それによる品質・効率の向上とけが等のリスクの減少を目指し、全社を挙げて取り組んでいます。



1993年



お客様からの注文に即応し、品質確認等の手順を遵守しながら、レシピにもとづき、多くの原料を正確に調合することで、安定した品質のたばこ香料をお届けしています



2012年

5年計画で工場棟、倉庫などを建て替え、設備や機械などのハード面をすべて整えました。さらなる強化を図るべく、5S3定活動、ミニプロ活動(業務改善活動)等各種の課題に取り組んでいます

ジェイティ物流株式会社

「たばこ基幹物流のリーダー」として 柔軟で安全な輸送を目指す

「JTの施策に柔軟に対応した効率的かつ競争力のある物流システムを構築し、高品質・低コストな物流サービスを創造・提供する」ことをミッションに掲げるジェイティ物流(株)。今回は、そんな「基幹物流」を担う企業として大切にしている取り組みを紹介します。



ジェイティ物流株式会社
代表取締役社長 松本 智

ジェイティ物流株式会社

本社所在地

東京都渋谷区南平台町5-1 日本たばこ渋谷ビル5F

代表者

代表取締役社長 松本 智

資本金

2億700万円
(日本たばこ産業株式会社の全額出資)

設立

1985(昭和60)年2月

従業員数

204名(2014年4月1日現在)



日本たばこ渋谷ビル

ジェイティ物流(株)は、たばこ輸送を通して全国にわたる輸送ネットワークと、これを支える情報システムを早くから構築してきたJTのグループ企業です。

大型車による幹線輸送はもちろんのこと、コンテナや船舶による長距離輸送の管理業務、たばこの原料となる葉たばこの保管管理、流通加工製品(ライター付きたばこ販促品等)の作製も担っています。

■「正しく、確実に、安全に」をモットーとした業務

原料を工場へ。そして、工場から出荷される製品を小売流通網に配送するため、JTグループ企業のTSネットワーク(株)が管理する流通基地へ運んでいます。

走行距離は、トラック1台につき毎日平均400km。年間では約80,000km(地球約2周分)にもなります。

ドライバーたちはJTという看板を背負ってたばこを運ぶ中で、“お客様へ正しく、確実に、安全に原料や製品を届ける”ことを意識し、業務に励んでいます。



原材料のたばこ工場への輸送、製品の流通基地への輸送などで大きな役割を果たしています



輸送業務だけでなく、販促品等の流通加工製品の作製も行っています

■ 技能向上のための社内コンテストを実施

ジェイティ物流(株)では人財育成の一環として、「社内ドライバーコンテスト」を2013年から実施しています。全国6支店から集まったドライバーたちは、実際にトラックを運転して技能を競う実技競技と、法令や車両構造などについての知識を問う学科競技の2つで競い合います。

従来は机上での安全講習のみを行っていましたが、技術面のさらなる補強・強化のため、技能を含めたコンテストを導入しました。

“高い運転能力がかえって事故の引き金になり得る”という教訓を胸に、ベテランも新人も基本的な運転技能をあらためてチェックすることで、より安全で正確な輸送を目指しています。



基本的な運転技術に注意しながら行う実技競技



【たばこ物流の役割分担】



原材料輸送(国内、海外)



たばこ工場



製品輸送



流通基地
(倉庫:TSネットワーク)



たばこ配送



全国の
たばこ店・コンビニ

ジェイティ物流

TSネットワーク
(JTグループ企業)

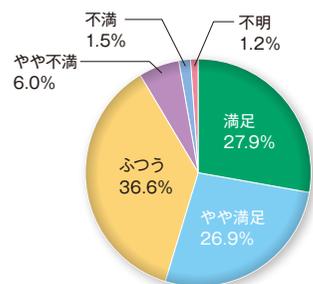
株主様アンケート結果のご報告

第29回定時株主総会招集ご通知送付の際に実施しました株主様アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今回は、4万人を超える非常に多くの株主様からご回答をいただきました。

お寄せいただいたご回答の中から株主優待商品、株式保有に関する結果についてご報告いたします。

株主優待について

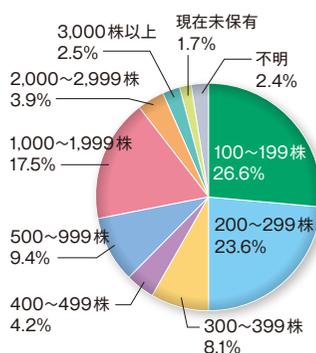
今回の株主優待の評価



ご評価いただきました結果を受けまして、よりご満足いただける優待商品をお届けできるよう努めてまいります。なお、株主様にお選びいただいた優待商品内訳は、飲料(・ご飯)セット(約54%)、ご飯セット(約20%)、スープ・調味料セット(約12%)、飲料1ケース(約9%)、ラスク・ジャムセット(約3%)、寄付(約2%)となりました。

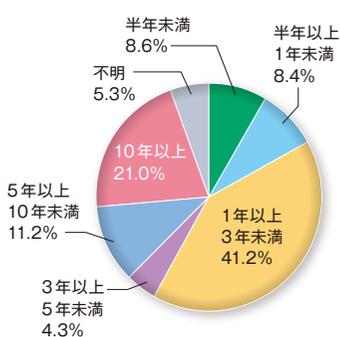
当社株式について

当社株式保有数を教えてください



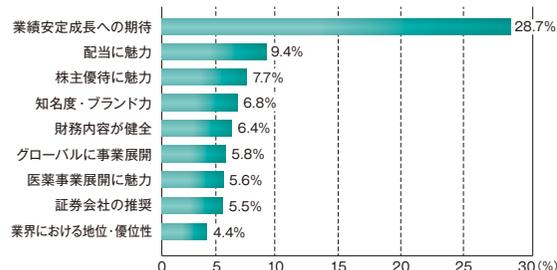
当社株式の保有期間について、2013年3月の売出し時からご所有いただいている株主様が多いこともあり、「1年以上3年未満保有」の株主様は41.2%、1994年の上場時から長期でご所有いただいている株主様を含め、「10年以上保有」の株主様は21.0%いらっしゃいました。

当社株式保有期間を教えてください



株式保有について

当社株式を保有した理由



昨年に引き続き、当社グループの業績安定成長への期待感が当社株式保有の保有理由として一番多くのご回答をいただきました。株主様のご期待にお応えすべく、中長期にわたって持続的な利益成長を目指してまいります。また、次いで多くの株主様にご回答いただいた配当につきましても、その水準を継続的に向上させてまいりましたが、引き続き競争力ある株主還元を追求してまいります。

決算期変更に伴う株主優待制度の基準日変更に関するお知らせ

JTは、決算期(事業年度の末日)を毎年3月31日から毎年12月31日に変更いたしました。これに伴い、株主優待制度の基準日を変更いたします。

■ 株主優待制度の基準日変更の内容は、以下のとおりです。

- 2013年度まで …… 毎年9月30日および3月31日の年2回
- 2014年度(4~12月の9カ月間) …… 9月30日および12月31日の年2回
- 2015年度以降 …… 毎年6月30日および12月31日の年2回

■ なお、配当の基準日については、以下のとおりとなります。

- 2013年度まで …… (中間配当)9月30日 (期末配当)3月31日
- 2014年度(4~12月の9カ月間) …… (中間配当)9月30日 (期末配当)12月31日
- 2015年度以降 …… (中間配当)6月30日 (期末配当)12月31日

株主優待商品の発送について

2014年3月31日現在の株主の皆さま宛てに、7月中旬より順次、株主優待商品をお届けしておりますが、まだお手元に届いていない株主様がおられましたら、お手数をおかけいたしますが、下記の「JT株主優待事務局」までお問い合わせください。

なお、株主優待商品につきましては、2014年3月31日現在の株主名簿にご登録のご住所宛てにお届けしておりますので、4月以降、引越し等によりご住所に変更があった場合にも、下記の「JT株主優待事務局」へご連絡ください。あわせて、口座を開設されている証券会社様にて住所変更のお手続きをお願いいたします。

特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社にてお手続きをお願いいたします。

JT株主優待事務局

(商品発送代行：株式会社ジェイティクリエイティブサービス)

☎0120-791-187

(受付時間/9:00~17:00 土・日・祝日を除く)

もてぎ

茂木たばこ神社 [栃木県]

たばこ産業の盛衰を伝え
町を見守る「たばこ神社」

“たばこ”抜きでは語ることができない栃木県茂木町。たばこの製造・販売が専売制になった明治37(1904)年の翌年に「たばこ製造所(=工場)」が設けられ、昭和52(1977)年に閉所されるまで、基幹産業として町を支えました。また、かつて同地では葉たばこの生産も盛んに行われ、キセルに用いる“細刻みたばこ”の原料となる「だるま葉」が数多くつくられていました。まさに“たばこの町”だったと言えます。

現在の茂木町には、このたばこ産業に関する面影がほとんど

残されていませんが、唯一、町内の城山(桔梗城跡)に建立されている「茂木たばこ神社」がその名残りを伝えていきます。昭和24(1949)年に専売公社敷地内に創建された社でしたが、昭和30(1955)年の工場拡張整備に伴い、現在の城山に移され、その際に「たばこ神社」と命名されたといわれます。

「茂木たばこ神社」では、現在も年に2回、例祭が執り行われ、町内外から参拝者が集まります。茂木の町並みが一望できる神社の眼下には、その昔、広大なたばこ工場が広がっていたのです。



境内には工場にあった記念碑も移設されている



城山から望む、かつての「茂木工場」



上面像とほぼ同位置から撮影した現在の風景



だるま葉の収穫作業

茂木町中心市街地を拠点とした観光ネットワークづくり事業の委託を受けているJTB関東法人営業宇都宮支店茂木町駐在所(以下、JTB茂木町駐在所)では、“まちおこし”のテーマとして、茂木町のかつての基幹産業だった「たばこ」に注目。2014年3月には「たばこと塩の博物館」協力のもと、昭和30年代の茂木町のたばこ農家の1年を活写した写真展を催しました。

現在もJTB茂木町駐在所では、町民らに呼びかけて同地のたばこに関する資料等の収集作業を行っています。将来的には、茂木町の資料館等にこれらを展示し、茂木町を支えた「たばこ」を歴史的背景から紹介したいとのこと。

■ 茂木たばこ神社

所在地 / 〒321-3566 栃木県芳賀郡茂木町小井戸461-1(城山公園内)

■ JTB茂木町駐在所からのお願い

JTB茂木町駐在所では、茂木町のたばこに関する写真・資料を集めています。情報等をお持ちの方は、同駐在所までご連絡をいただけますと幸いです。
TEL/0285-81-7401



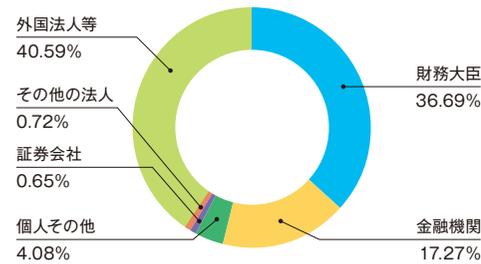
会社概要

商号	日本たばこ産業株式会社	設立	1985年(昭和60年)4月1日
本社所在地	〒105-8422 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号 JTビル	資本金	1,000億円
	TEL. (03) 3582-3111 (代表) FAX. (03) 5572-1441		

株式の状況

2014年6月30日現在

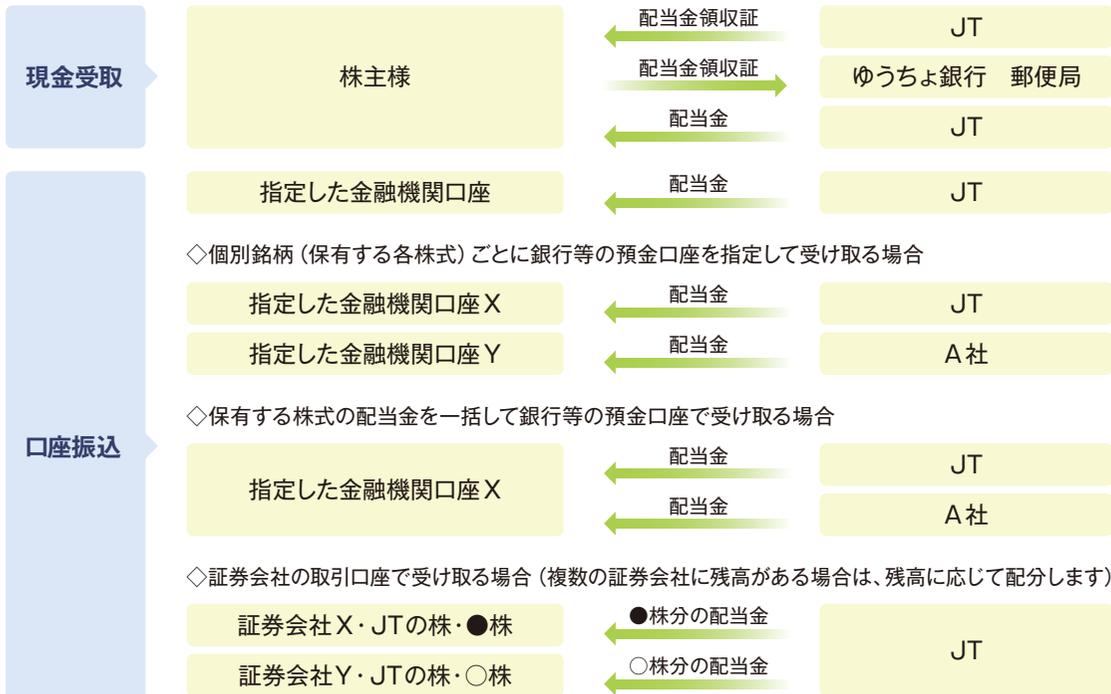
所有者別構成比(自己株式を除く)



発行可能株式総数	8,000,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式 182,451,388株)	2,000,000,000株
株主数	113,925名

配当金のお受け取り方法

口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます。



※特別口座をご利用の株主様はご利用できません

役員

取締役

取締役会長	丹呉 泰健
代表取締役社長	小泉 光臣
代表取締役副社長	新貝 康司
代表取締役副社長	大久保憲朗
代表取締役副社長	佐伯 明
取締役副社長	宮崎 秀樹
取締役	岡 素之
取締役	幸田 真音

監査役

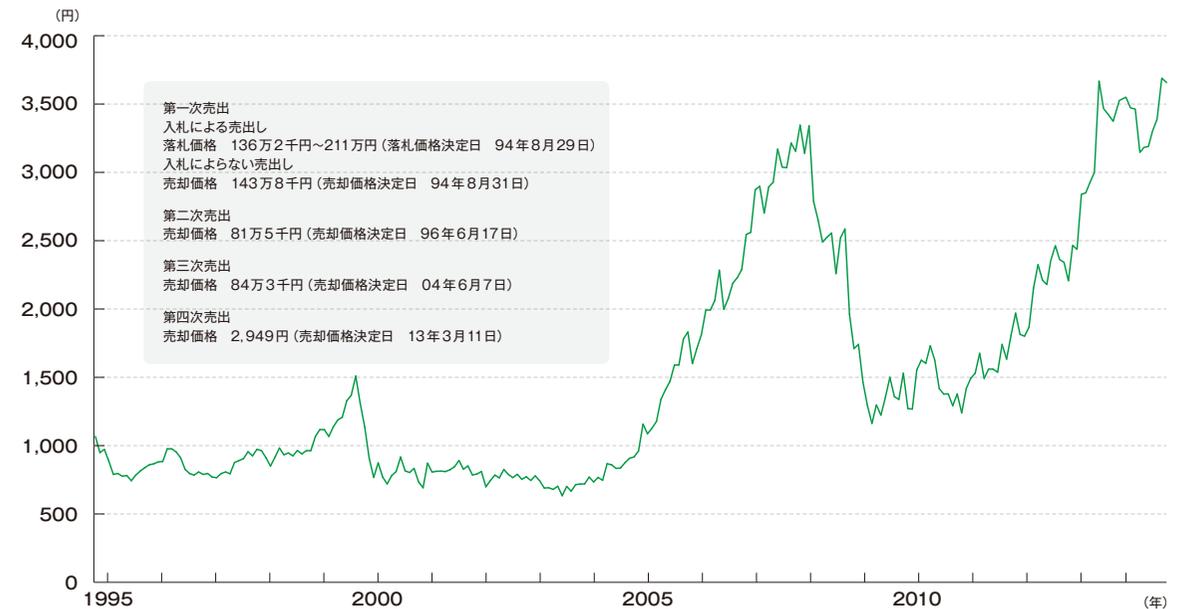
常勤監査役	中村 太
常勤監査役	湖島 知高
監査役	上田 廣一
監査役	今井 義典

執行役員

社長	小泉 光臣
副社長	(コンプライアンス・企画・人事・総務・法務・監査担当) 新貝 康司
副社長	(医薬事業・飲料事業・加工食品事業担当) 大久保憲朗
副社長	(たばこ事業本部長) 佐伯 明
副社長	(CSR・財務・コミュニケーション担当) 宮崎 秀樹
専務執行役員	(たばこ事業本部 マーケティング&セールス責任者) 飯島 謙二
専務執行役員	(コンプライアンス・総務担当) 千々岩良二
専務執行役員	(企画責任者) 岩井 睦雄
常務執行役員	(たばこ事業本部 原料統括部長) 村上 伸一
執行役員	(たばこ事業本部 渉外責任者) 山下 和人
執行役員	(たばこ事業本部 R&D 責任者) 米田 靖之
執行役員	(たばこ事業本部 製造統括部長) 佐藤 雅彦
執行役員	(たばこ事業本部 中国事業部長) 川股 篤博
執行役員	(たばこ事業本部 事業企画室長) 福地 淳一
執行役員	(医薬事業部長) 藤本 宗明
執行役員	(医薬事業部 医薬総合研究所長) 大川 滋紀
執行役員	(飲料事業部長) 松田 剛一
執行役員	(CSR担当) 永田 亮子
執行役員	(人事責任者) 佐々木治道
執行役員	(財務責任者) 見浪 直博
執行役員	(コミュニケーション責任者) 前田 勇気
執行役員	(総務責任者) 山田 晴彦
執行役員	(法務責任者) 廣渡 清栄
執行役員	(企画副責任者) 筒井 岳彦

株価の推移

1994年10月27日上場～2014年7月 当社株価(東証終値、月間)



※2006年4月1日を効力発生日として1株につき5株の割合、また、2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。株価は調整後株価を示しています